



湘北短期大学図書館 としょかんNEWS

vol.130

2018.9.20 発行

図書館学生サポーター「さるーち倶楽部」は、平成30年4月より、学友会の「図書委員会」と組織を改めて、全学的な活動へとパワーアップしました。新たな取り組みは大変なことも多々ありますが、図書館は、図書委員会を全面的に応援したいと思っています。そこで、今回は、図書委員会の取り組み、“学生みなさんに本や図書館の楽しさを知ってもらうための仕掛け”を実施した中から、あわせて新企画もご紹介します。



ビブリオバトル 意外な本との出逢い！プレゼンスキルも身についちゃう！

公式ルール

ビブリオバトルは、本を紹介しあい、チャンプ本をみんなで決定する楽しい企画です。

- 1 参加者が面白いと思った本1冊を持って集まる。
- 2 順番に、一人5分間で本を紹介する。
- 3 それぞれの紹介の後に参加者全員でディスカッションを2～3分行う。
- 4 「どの本が一番読みたくなったか！」参加者全員で投票し、チャンプ本を決定！

2018年7月25日（水）昼休み、図書委員会主催で、全学生を対象にビブリオバトルを開催しました。ビブリオバトルという言葉始めて聞く人もいるかと思いますが、ルールはとてもシンプルです。そもそも、大学の研究室で生まれたビブリオバトル。その後、大学生を中心に全国に広がっています。みなさんも、学生時代に楽しいバトルを繰り広げて、新たな本の世界と出逢ってみませんか？ 開催の案内は、随時、掲示してお知らせしますので、お見逃しなく！



第28弾 学生選書ツアー 学生の特権！こんなチャンスはなかなかない！

2018年8月7日（火）、有隣堂厚木店で、第28弾！学生選書ツアーを実施しました。学生が書店に足を運び、実際に本を手にとって、「図書館にあったらいいな」という本をそれぞれに選んでもらうという企画です。年2回行っている学生選書ツアーも今回から図書委員会が主催しました。ポスター制作から全学生への呼びかけ、実施まで全ての運営をしています。

選んでいただいた約180冊の本は、10月には展示コーナーを設置して、貸出を開始します。どんな本を選んできたのでしょうか？お楽しみに！



有隣堂厚木店の前にて

次回予告

次回、第29弾学生選書ツアーは、2月初旬、紀伊国屋書店新宿本店での開催を予定しています。改めて、掲示でお知らせいたしますので、ぜひ、ご参加ください。



新企画！いつでもだれでも選書会 あなたのリクエストをきかせてね！

図書委員会の発案で新企画が登場！学生みなさんに「図書館にあったらいいな」という本をリクエストしていただけるように図書館2階に選書会コーナーと選書用紙を設置します。図書館には、「新刊情報」という新刊情報が掲載されている本が毎週届きます。この「新刊情報」は、その週に発行された新刊が掲載されている情報誌ですので、こちらを参考にさせていただいても良いですし、インターネット、TV、雑誌、新聞で見つけた話題の本など、本の情報源は何でもかまいません。いつも本についての情報にアンテナをはっていただきね。

あなたの好きな時間にいつでも選書をお楽しみいただける新企画は、10月1日（月）よりスタート！みなさんのお越しを図書館でお待ちしています。



NEWキャラクター登場！

選書のルール

みんなに読んで欲しい本！図書館において欲しい本！



マンガ・雑誌・シリーズもの ⇒ 対象外となります。

小説などハードカバーが図書館にある場合は、基本的に文庫版の購入はできません。写真集、タレント・ミュージシャン・スポーツ選手などの本、ドラマ・映画のノベライズは、ひかえめに。同じテーマのものばかりでなく、図書館に置いて、みんなに読んでもらいたい本をバランスよく選んでくださいね。全ての本を購入できるわけではありませんが、気になる本について、ぜひ、ご意見をお聞かせください。

●ちょっと、お・ま・けコーナー

図書館に出没するキャラクターたちをご紹介！



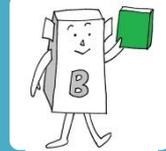
さぼじい

図書委員会の前身さぼーち倶楽部のキャラクター、本の虫。学生の発案。



さる一ち

ご存知！図書館公式キャラクター。愛らしく出没するので、ぜひ、探してね！



ぶっくん

2017年生まれ。図書館非公式キャラクター。本にまつわる説明をしてくれる。

連載

Relay Essay No.46

「私の好きなエッセイ」

広報部 稲垣 美穂

旅行が好きと気づいたのはここ最近ですが、振り返ると、大学生の時からずっと読み続けているコミックエッセイの影響を受けまくっています。私が紹介したいのは、たかぎなおさんのコミックエッセイシリーズです。本というよりは漫画に近いのですが、30作近くの作品を出版しており、コミックエッセイ作家の中でもおそらく1番人気がある方です。初めて読んだのは「ひとりぐらしも5年目」で、当時大学1年生で1人暮らし1年目だった私は、本の中で繰り広げられる一人暮らしあるあるストーリーと可愛いイラストに魅了され、その後もたかぎさんの本が出版されると欠かさず買い集めてきました。1人暮らしシリーズ以外にも、上京してからのこと、背が低いこと、おいしい食べ物、家族、マラソン、旅行などについて書かれたさまざまなシリーズがあります。

中でもお勧めは「愛しのローカルごはん旅」です。全国各地のローカルフードを求めて旅する話で、静岡

の富士宮やきそば、名古屋の喫茶店モーニング、和歌山のなれずし等が紹介されていて食欲もそそられますが、この本を読むと旅に出たくなること間違いなしです。ちなみに、続編の「愛しのローカルごはん旅もう一杯！」では、厚木のシロコロも登場します。

エッセイだと、湊かなえさんの「山猫珈琲」もお勧めです。主に湊さんの過去のアクティビティの体験や地元淡路島について書かれているのですが、そこに行ってみよう！それを食べてみたい！と思わせる描写が満載です。ご本人が書かれている小説とは違うイメージでほのぼのした雰囲気のエッセイです。

本の影響を受け、青森にフレンチトーストを食べに行くこと、淡路島で海ほたるを見て鯛そうめんを食べることが今の目標です！



「愛しのローカルごはん旅 もう一杯！」
たかぎなお 著